

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

7月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。この1年を通してほとんど患者が発生していません。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は2,388件（前月比1.39、前年同月比1.17）で、前月に比べ増加しました。手足口病が大きく増加し、感染性胃腸炎も増加していました。詳細は疾患別傾向をご覧ください。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は200件（前月比0.7、前年同月比200.0）でした。今年は4月をピークに減少傾向が続いています。例年は8月～10月に流行のピークがありますので、今後の監視が必要です。人吉（13.33）、八代（10.75）で報告が多くなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は95件（前月比0.9、前年同月比1.5）でした。昨年より高い水準で発生しています。年齢別では1歳をピークに、1～2歳で全体の6割を占めました（62/95）。水俣（4.00）で患者数がやや多くなっています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は97件（前月比1.3、前年同月比0.6）でした。今年は昨年より患者数が減っています。年齢別では2～5歳に集中しています。菊池（3.80）でやや多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は671件（前月比1.4、前年同月比1.0）でした。今月は前月より増加しました。1歳をピークに全ての年齢層で患者が発生しています。菊池（40.80）、有明（26.40）で報告が多くなっています。
5. 水痘 : 報告数は43件（前月比1.7、前年同月比0.9）でした。前月より増加しましたが、昨年とは同じ水準です。4～5歳が全体の半数を占めます（21/43）。宇城（5.25）でやや多くなっています。
6. 手足口病 : 報告数は826件（前月比2.2、前年同月比7.5）でした。6月に患者数が急増し、7月もさらに増加しました。昨年と比べても高い水準ですが、一昨年の患者数には及びません。1歳をピークに、1～3歳で約8割を占めました（645/826）。熊本（29.44）、宇城（25.75）からの報告が多くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は12件（前月比2.4、前年同月比1.7）でした。患者数は前月に比べて増加しました。
8. 突発性発疹 : 報告数は170件（前月比1.2、前年同月比0.8）で、前月と比べて増加傾向です。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は59件（前月比2.8、前年同月比0.1）でした。前月より増加しましたが、一昨年、昨年と比べると著しく低い水準です。例年7～8月に流行のピークがありますので、引き続き監視が必要です。天草（4.25）からの報告が多くなっています。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は15件（前月比3.8、前年同月比0.8）でした。前月から増加し、昨年と同様の患者数です。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数22件(前月比1.0、前年同月0.6)と前年、前月ともほとんど差がありません。熊本21件、有明1件の報告です。年齢別では20～29歳に山がありますが、それ以降の年齢層にも少ないながら発症しています。乳幼児層に報告はありません。今後も、新型コロナの影響で不要不急の外出を控えることと、夏休み期間ですので大きな感染拡大はないことが予想されます。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数92件(前月比1.1、前年同月比2.0)でした。男女別は、男性68件、女性24件と男性に多くみられました。年齢別では、男性は20代をピークに、次いで30代、40代と多く、10代後半～60代前半と幅広く分布しており、女性も同様に20代前半をピークに10代後半～40代に集中していました。地区別は、熊本市が75件と圧倒的に多く、次いで有明が5件、八代、宇城が各4件(男性3件、女性1件)、御船が女性のみ3件、菊池も女性のみ1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数22件(前月比0.9、前年同月比0.9)でした。男女別は、男性9件、女性13件でした。年齢別では、男性の30代と50代がそれぞれ4例、女性は10代後半から70代以降まで幅広く分布していました。地区別は、熊本10件、菊池で女性のみ5件、八代で4件内女性3件、宇城が男性のみ2件、御船が女性のみ1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は7件(前月比0.8、前年同月比2.3)でした。男女別では男性5件、女性2件でした。年齢別では、20代が男性3件、女性2件、40代、50代が男性各1件でした。地区別は、熊本が男性のみ5件、菊池、八代が女性のみ各1件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は37件(前月比1.5、前年同月比1.9)でした。全例、男性でした。20代が14件、30代13件と多く、40代5件、50代2件と続き、10代後半と60代と70代以降が各1件でした。地区別は、熊本28件、次いで宇城4件、有明3件、八代2件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数13件(前月比0.7、前年同月比1.0)でした。10件が70歳以上でした。乳幼児では発生なしです。阿蘇(4件、定点あたり4.0)が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数2件(前月比0.7、前年同月比-)でした。1-4歳が2件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数3件(前月比1.5、前年同月比-)で、有明からの報告でした。3月以降やや増加傾向で注意が必要です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比1.0、前年同月比0.3）でした。20歳代、熊本よりの報告です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数1件（前月比-、前年同月比1.0）でした。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比-、前年同月比-）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数0件（前月比-、前年同月比-）でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	20件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	5件
4類感染症	： レジオネラ症	5件
	日本紅斑熱	1件
	ボツリヌス症	3件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	クリプトスポリジウム症	1件
	ウイルス性肝炎	1件
	梅毒	14件
	百日咳	3件
	破傷風	2件
新型インフルエンザ等感染症	： 新型コロナウイルス感染症	597件